

第52回 防府市民短歌大会受賞作品 一般の部 令和5年10月1日

市長賞

窓越しの光あつめて針穴にたどりつきたり黒の糸さき 河野美津子

市議会議長賞

脛をうちお額<sup>でこ</sup>ぶつけて老いゆくよむらさきしきぶ色づく九月 藤田 淳子

教育長賞

黙々と柚子味噌作る雨の午後手秤の母に及びもせぬなり 江川 詳子

文化協会会長賞

ススキの穂わけて入りてかくれんぼ誰も探しに来ないふるさと 木原 樹庵

天満宮梅花賞

夕餉に食む一皿のさしみ子はわれに母さん食べてと三切れを残す 河野 敬子

観光コンベンション協会会長賞

その事に触れたい想いじっと耐え互いに外の雨を見つめる 吉武 信子

商工会議所会頭賞

卓上の「かあさんはやくかえってこい」留守番の子の拙い仮名の 船本 佳子

青年会議所理事長賞

カタバミの小さき種ども吾を撃つ握りつぶしてみよとばかりに 村田久美子

短歌会会長賞

紅葉の並木のしたに友を待つ風吹きくれば万華鏡のなか 梁瀬 則子

佳作賞

戦時中一枚きりの大島で作しもんぺ母の一張羅 田嶋キシコ

短冊に「お星さまキラキラ空から見てる」と書きし姉逝く七月二日 福江 博子

角度変えある瞬間に光り出す君は原石 コツコツ磨け 山口 正子

雨の日はひとりぼっちの朝がいい小さなものにこだわりたい日 弘重 和恵